

T&Dダブルブル・ ベア・シリーズ7 (中国・ダブルブル7)


◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）	
信託期間	2020年3月10日から2022年3月10日まで	
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	<p>円建の外国投資信託「バッシ ム・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド - クラスC証券」および国内投資信託「マネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。</p>	
	バッシ ム・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド - クラスC証券	<p>主として円建の日本国債を投資対象とします。 JPモルガンチェースバンク N. A. ロンドン支店、またはJPモルガンチェースグループに属する金融機関をカウンターパーティとしたスワップ取引を行います。概ね純資産相当額程度で行うものとします。 スワップ取引を利用して、実質的に日々の基準価額の値動きが中国の株価指数であるハンセン中国企業株指数（H株指数）の日々の騰落率の概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。</p>
	マネーアカウントマザーファンド	<p>わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</p>
組入制限	<p>投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。</p>	
	バッシ ム・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド - クラスC証券	<p>店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資は行いません。 有価証券の空売りは行いません。</p>
	マネーアカウントマザーファンド	<p>株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。</p>
分配方針	<p>分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>	

第1期運用報告書（全体版） （決算日 2021年3月10日）

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。
さて、「T&Dダブルブル・ベア・シリーズ7（中国・ダブルブル7）」は、2021年3月10日に第1期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **T&Dアセットマネジメント株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債組入比率	債先物比率	パッシブ・トラスト・チャイナ2xブル・ファンドクラスC証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率				
設定日 2020年3月10日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 1
1期(2021年3月10日)	10,476	0	4.8	—	—	94.7	223

(注) 基準価額および分配金は1口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、対象とする国の株価指数の日々の値動きの概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2日以上離れた日との比較においては概ね2倍程度の投資成果が得られる訳ではないため比較が出来ないことから、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債先物比率	パッシブ・トラスト・チャイナ2xブル・ファンドクラスC証券組入比率
	騰落率	騰落率			
設定日 2020年3月10日	円 10,000	% —	% —	% —	% —
3月末	8,558	△14.4	—	—	88.9
4月末	9,478	△5.2	—	—	90.1
5月末	8,731	△12.7	—	—	90.0
6月末	8,950	△10.5	—	—	94.9
7月末	9,437	△5.6	—	—	94.9
8月末	9,556	△4.4	—	—	95.0
9月末	7,952	△20.5	—	—	94.7
10月末	9,018	△9.8	—	—	92.4
11月末	10,439	4.4	—	—	95.2
12月末	9,761	△2.4	—	—	94.8
2021年1月末	11,277	12.8	—	—	95.6
2月末	11,898	19.0	—	—	94.9
期末 2021年3月10日	10,476	4.8	—	—	94.7

(注) 基準価額は1口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は設定日比。

(注) 設定日の基準価額には、当初元本を用いております。

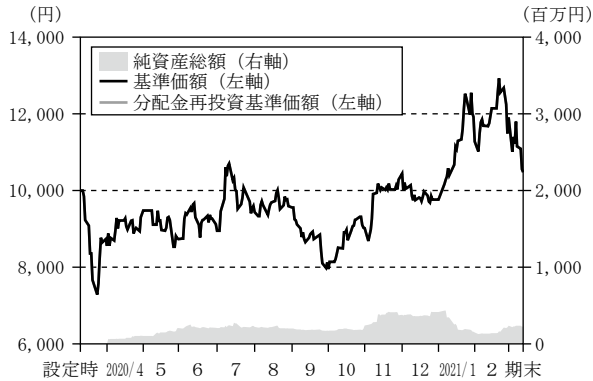
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、対象とする国の株価指数の日々の値動きの概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2日以上離れた日との比較においては概ね2倍程度の投資成果が得られる訳ではないため比較が出来ないことから、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



設定日：10,000円

第1期末：10,476円（既払分配金0円）

騰落率：4.8%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、設定日（2020年3月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- （注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

■ 基準価額の主な変動要因

「パッシブ・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド - クラスC証券」への投資を通じて、日々の基準価額の値動きが、中国の株価指数であるハンセン中国企業株指数（H株指数）の日々の騰落率の概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行いました。ハンセン中国企業株指数が上昇した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
パッシブ・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド - クラスC証券	3.9%
マネーアカウントマザーファンド	△0.1%

■ 投資環境

【中国株式市況】

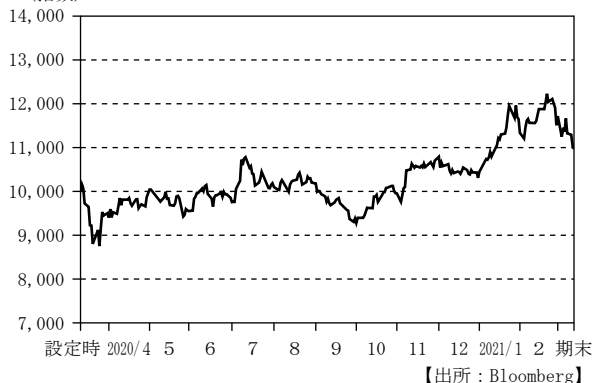
当期の中国株式市場は上昇しました。期初から2020年4月にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に歯止めが掛からず、世界経済停滞の懸念が高まったことを背景に大幅下落して始まりました。その後は、中国政府による財政出動やF R B（米連邦準備制度理事会）による追加量的金融緩和策など米中両政府による金融、財政支援策に加えて、武漢地域の封鎖が解除されるとの発表を好感し、上昇に転じました。5月から6月にかけては、「全人代」の開催に伴う経済正常化、景気刺激策への期待が高まる一方で、中国政府による「香港国家安全法」の制定により悪化した米中対立を巡り一喜

一憂する値の荒い展開が続きました。7月から9月にかけては、好調な中国経済指標を受け、景気の早期回復期待から大きく上昇しましたが、米中対立激化懸念が高まったことや域内での新型コロナウイルス感染再拡大などから軟調な展開となりました。その後は、米国の金融緩和の長期化観測と米中対立懸念の後退から一時的に値を戻したものの、米中対立の激化や印中、豪中関係の悪化が重荷となり再び下落する展開となりました。10月から12月にかけては、中国政府への政策期待や米大統領選においてバイデン氏優勢との見方が広がり、米中関係改善への期待から上昇に転じましたが、欧米で新型コロナウイルス感染が再拡大する中、世界景気減速懸念が再燃したことや米国政府による中国企業への新たな制裁措置が重しとなり上値の重い展開が続きました。2021年1月から期末にかけては、中国通信大手3社の米国での上場廃止決定を受け、代替市場として香港市場への資金流入や中国本国での景気回復期待に加え、米国での追加経済対策の成立期待や金融緩和長期化観測が強まったことなどを背景に上昇しましたが、米長期金利の断続的な上昇や香港政府が株式取引の印紙税率の引上げを発表したことなどから反落しました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.34\%$ から期末は $\Delta 0.10\%$ となりました。期中においては、国庫短期証券の発行増加に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや担保需要などが金利低下要因となりました。

(指数) ハンセン中国企業株指数（H株指数）の推移



■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

期を通じて、「パッシム・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド - クラスC証券」を高位に組入れました。組入比率は、追加設定・解約や組入投資信託証券の価格の変動による運用資産の増減はありましたが、概ね高位で推移しました。残りの資産につきましては、「マネーアカウントマザーファンド」およびコールローン等で運用を行いました。

【パッシム・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド - クラスC証券】

主として日本国債等の現物資産へ投資する一方で、JPモルガンチェースバンクN. A.などを相手方とするスワップ取引（元本交換を伴わない）を高位に組入れ、実質的に日々の基準価額の値動きが、中国の株価指数であるハンセン中国企業株指数（H株指数）の日々の騰落率の概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行いました。

【マネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準、市況動向等勘案し、見送らせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「パッシブ・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド - クラスC証券」の組入比率を高位に保ち、「マネーアカウントマザーファンド」への投資も継続する方針です。

【パッシブ・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド - クラスC証券】

主として日本国債等の現物資産へ投資する一方で、JPモルガンチェースバンクN. A.などを相手方とするスワップ取引（元本交換を伴わない）を高位に組入れ、実質的に日々の基準価額の値動きが、中国の株価指数であるハンセン中国企業株指数（H株指数）の日々の騰落率の概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を継続する方針です。

【マネーアカウントマザーファンド】

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1口当たりの費用明細 (2020年3月10日から2021年3月10日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2020/3/10～2021/3/10		
	金額	比率	
平均基準価額	9,587円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	89円	0.927%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(42)	(0.441)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(42)	(0.441)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.044)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.017	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(2)	(0.017)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託に係る手数料
合計	91	0.944	

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

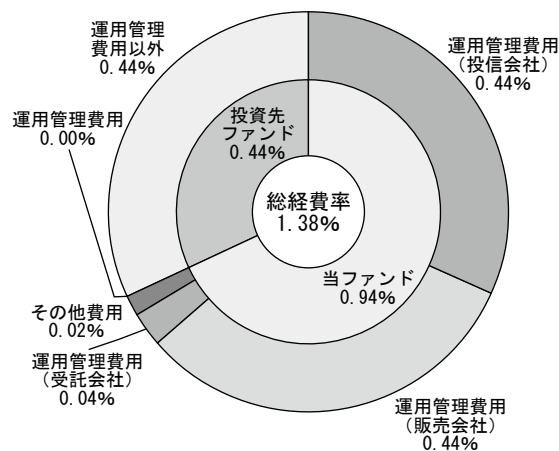
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1万口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、1.38%です。



総経費率 (①+②+③)	1.38%
①当ファンドの費用の比率	0.94%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.44%

(注) ①の費用は、1口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2020年3月10日から2021年3月10日まで)

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		口	千円	口	千円
外 国 (邦貨建)	パッシム・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド - クラスC証券	79,450	765,503	59,090	597,397

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
マネーアカウントマザーファンド	19	20	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2020年3月10日から2021年3月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況 (2020年3月10日から2021年3月10日まで)

設定時残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高 (元本)	取 引 の 理 由
千円	千円	千円	千円	
1,100	—	1,100	—	当初設定時における取得およびその処分

(注) 単位未満は切捨て。

組入資産の明細 (2021年3月10日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	口	千円	%
パッシム・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド - クラスC証券	20,360	211,499	94.7

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	口 数	評 価 額	額
	千口		千円
マネーアカウントマザーファンド	19		19

(注) マネーアカウントマザーファンド全体の受益権口数は535,284千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2021年3月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
パッシム・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド - クラスC証券	211,499	94.2
マネーアカウントマザーファンド	19	0.0
コール・ローン等、その他	12,971	5.8
投資信託財産総額	224,489	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年3月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	224,489,665円
コール・ローン等	12,970,610
パッシム・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド - クラスC証券(評価額)	211,499,069
マネーアカウントマザーファンド(評価額)	19,986
(B) 負 債	1,208,702
未 払 信 託 報 酬	1,186,146
未 払 利 息	21
そ の 他 未 払 費 用	22,535
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	223,280,963
元 本	213,130,000
次 期 繰 越 損 益 金	10,150,963
(D) 受 益 権 総 口 数	21,313口
1 口 当 た り 基 準 価 額(C / D)	10,476円

- (注) 設定時元本額 1,100,000円
 期中追加設定元本額 937,950,000円
 期中一部解約元本額 725,920,000円
 (注) 1口当たり純資産額は10,476円です。

損益の状況

当期 自2020年3月10日 至2021年3月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 3,553円
受 取 利 息	6
支 払 利 息	△ 3,559
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 7,422,835
売 買 損 益	29,092,560
売 買 損 益	△36,515,395
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,951,406
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	△ 9,377,794
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	19,528,757
(配 当 等 相 当 額)	(△ 11,842)
(売 買 損 益 相 当 額)	(19,540,599)
(F) 合 計(D + E)	10,150,963
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(F + G)	10,150,963
追 加 信 託 差 損 益 金	19,528,757
(配 当 等 相 当 額)	(△ 11,842)
(売 買 損 益 相 当 額)	(19,540,599)
繰 越 損 益 金	△ 9,377,794

- (注) 損益の状況の中で
 (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

計算期末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (0円) および収益調整金 (10,162,805円) より、分配対象収益は10,162,805円 (1口当たり476円) となりましたが、当期の分配は見送らせていただきました。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位：円・%、1口当たり・税引前)

項目	当期
	2020年3月10日 ～2021年3月10日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	476

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

補足情報

マネーアカウントマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当期における売買はありません。

マネーアカウントマザーファンドの組入資産の明細

当期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

パッシム・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド - クラスC証券

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
運用の基本方針 主な投資対象	主として円建の日本国債およびスワップ取引に投資を行い、安定的なインカム収益の獲得と信託財産の成長を目指して運用を行います。 主として円建の日本国債を投資対象とします。 スワップ取引等のデリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
投資態度	①主として円建の日本国債を投資対象とします。 ②J PモルガンチェースバンクN. A. ロンドン支店、またはJ Pモルガンチェースグループに属する金融機関をカウンターパーティとしたスワップ取引を行います。概ね純資産相当額程度で行うものとします。 ③スワップ取引を利用して、実質的に日々の基準価額の値動きが以下の通りとなる投資成果を目指して運用を行います。 【チャイナ 2x ブル・ファンド - クラスC証券】 中国の株価指数であるハンセン中国企業株指数（H株指数）の日々の騰落率の概ね2倍程度 資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限	①店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。 ②有価証券の空売りは行いません。 ③純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 ④一発行会社の発行済株式総数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 ⑤流動性に欠ける資産の組入れは15%以下とします。 ⑥運用会社および管理会社は、自己または投資信託受益証券以外の第三者の利益を図る目的で行う取引等は行いません。
決 算 日	6月30日
分 配 方 針	原則として、年1回分配を行います。
投資運用会社 管 理 会 社	J. P. モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッド

※「パッシム・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド - クラスC証券」は、円建ての外国投資信託「パッシム・トラスト」のサブファンドです。次ページ以降の記載は、「パッシム・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド」の状況です。
※次ページ以降の記載は、J Pモルガン証券株式会社より入手した情報をもとに作成しております。(1)は入手可能な直近の監査済報告書を当社が一部和訳したもの、(2)は保有明細をもとに当社が作成したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

パッシム・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド

(1) 損益計算書

計算期間：2019年7月1日～2020年6月30日

単位：千円

収益	
投資に係る実現損益	(117,857)
受取利息（アモチゼーションによるものを含む）	(776)
収益合計	(118,633)

費用	
管理報酬	2,251
監査費用	474
保管費用	(135)
投資運用会社報酬	(2,653)
取引費用	61
受託手数料	310
弁護士報酬	718
その他費用	1,229
運用費用合計	2,255

税引前損益	(120,888)
源泉徴収税	(38)
運用による純資産増減額	(120,926)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(注) 「パッシム・トラスト - チャイナ 2x ブル・ファンド」における「クラスC証券」の決算期末の持分比率は100.0%です。なお、持分比率は監査済報告書の情報をもとに当社が算出したものです。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2020年6月30日

債券現物

単位：円

銘柄名	利率	償還日	額面	評価額
第125回利付国債（5年）	0.1%	2020/9/20	90,000,000	90,050,400
第395回利付国債（2年）	0.1%	2020/12/1	87,000,000	87,093,090
合計				177,143,490

スワップ

単位：円

想定元本額	評価額
423,560,000	(11,112,097)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第22期（決算日 2020年12月10日）
（計算期間 2020年6月11日から2020年12月10日まで）

「マネーアカウントマザーファンド」は、2020年12月10日に第22期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落中率 %			
18期（2018年12月10日）	10,019	△0.0	—	—	百万円 170
19期（2019年6月10日）	10,014	△0.0	—	—	361
20期（2019年12月10日）	10,011	△0.0	—	—	243
21期（2020年6月10日）	10,007	△0.0	—	—	517
22期（2020年12月10日）	10,004	△0.0	—	—	716

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債券組入比率	債券先物比率
期首（前期末） 2020年6月10日	円 10,007	% —	% —
6月末	10,007	0.0	—
7月末	10,006	△0.0	—
8月末	10,006	△0.0	—
9月末	10,005	△0.0	—
10月末	10,004	△0.0	—
11月末	10,004	△0.0	—
期 末 2020年12月10日	10,004	△0.0	—

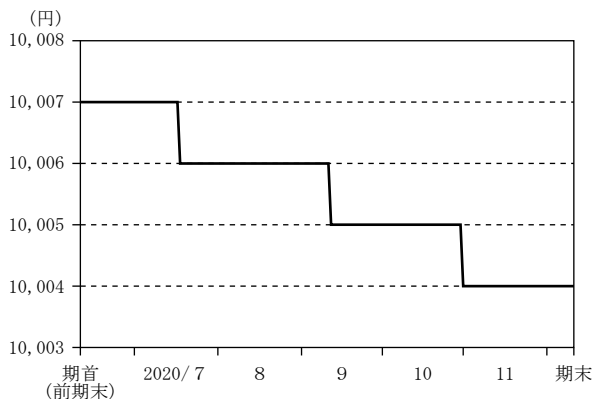
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,007円から期末は10,004円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことにより下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.11\%$ から期末は $\Delta 0.09\%$ となりました。期中においては、国庫短期証券の発行増加に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2020年6月11日から2020年12月10日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2020年6月11日から2020年12月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2020年6月11日から2020年12月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2020年12月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2020年12月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 776,037	% 100.0
投資信託財産総額	776,037	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	776,037,003円
コール・ローン等	776,037,003
(B) 負 債	60,001,360
未 払 解 約 金	60,000,000
未 払 利 息	1,360
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	716,035,643
元 本	715,772,767
次 期 繰 越 損 益 金	262,876
(D) 受 益 権 総 口 数	715,772,767口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,004円

(注) 期首元本額 516,928,023円
 期中追加設定元本額 1,569,190,434円
 期中一部解約元本額 1,370,345,690円

(注) 1口当たり純資産額は1.0004円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳

T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)円ヘッジ・コース	18,088,924円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)米ドル・コース	3,880,650円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)米ドル・コース	271,416円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)ユーロ・コース	84,421円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)ユーロ・コース	1,183,231円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)豪ドル・コース	9,673,783円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)豪ドル・コース	71,007円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)リアル・コース	4,934,473円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)インドネシアリアル・コース	97,216円
リビング・アース戦略ファンド(年2回決算コース)	99,632円
リビング・アース戦略ファンド(年4回決算コース)	99,632円
T&Dダブル・ベア・シリーズ7(インド・ダブル7)	19,983円
T&Dダブル・ベア・シリーズ7(インド・ダブル7)	19,983円
T&Dダブル・ベア・シリーズ7(中国・ダブル7)	19,983円
T&Dダブル・ベア・シリーズ7(中国・ダブル7)	19,983円
T&Dダブル・ベア・シリーズ7(ナスダック100・ダブル7)	19,983円
T&Dダブル・ベア・シリーズ7(ナスダック100・ダブル7)	19,983円
T&Dダブル・ベア・シリーズ7(金・ダブル7)	19,983円
T&Dダブル・ベア・シリーズ7(金・ダブル7)	19,983円
T&Dダブル・ベア・シリーズ7(マネー・プールファンド7)	677,128,518円

損益の状況

当期 自2020年6月11日 至2020年12月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△193,669円
受 取 利 息	580
支 払 利 息	△194,249
(B) 当 期 損 益 金 (A)	△193,669
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	370,229
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	809,566
(E) 解 約 差 損 益 金	△723,250
(F) 合 計 (B + C + D + E)	262,876
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	262,876

(注) 損益の状況の中で

(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(E)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。